

奄美ブロック

初期研修医 症例報告会

『急性精神病状態を呈して

救急搬送された24歳女性』

喜界徳洲会病院

2年目 初期研修医

海透 優太

Patient ID : 24y.o Female

【主訴】

パニック状態

【現病歴】

救急隊からの第一報

“患者本人が救急要請したのですが、何を言っているのかよくわかりません。とりあえず意味不明な言葉をずっと発しています。話しかけても会話がかみ合いません。名前もわかりません。搬送してよろしいでしょうか？”

海透

“(喜界島には当院しか病院がないので)他に連れていける病院あるんですか(笑)?どうぞ。”

# 来院

救急車から降りるなり

「ルパンが追いかけてくるよ、ほら速く逃げないと！ああ、記憶が消されていくよ！しゃんでいー、はいぽ、じゅげむ、めておめてお、大丈夫、大丈夫。ほら、水が飲みたい、紙とペンを貸して！記憶が消えないうちにすべてを書いておきたい！世界に置いて行かれちゃう！」

と叫びながら、ERに入ってきた。

# 来院

こちらがなだめるように話しかけても、  
まったく落ち着く気配なし。

突然窓から出て行こうとしたりするため看護師2名で捕まえておくことに。

他害のおそれはなく、持ち物に凶器もない。

身元不明であり、喜界警察に連絡



# Vital & Physical

# 鑑別診断

- アルコール中毒
- 麻薬中毒
- 急性精神病状態
- 髄膜炎・脳炎
- ショック
- 甲状腺機能亢進症(甲状腺クリーゼ)

# 初期診断と治療

急性精神病状態と判断し、リスパダール液1mg  
欲しがっていた水に混ぜて内服。

⇒効果なし

⇒更にリスパダール1mgを水に混ぜて内服

⇒効果なし

⇒セレネース5mg 1Aを筋注

⇒30分程度で次第に落ち着いてきた

# 初期診断と治療

○宇治徳であれば、精神科専門病院に搬送  
依頼をかけて医療保護入院なりの入院加  
療をお願いするような症例。

⇒ここは喜界島であり、精神科専門医はも  
ちろん、閉鎖施設もない(自傷のおそれ  
があったため)

⇒24条通報に切り替えていただき、緊急搬  
送を考慮



# 初期診断と治療

午前中に自分で警察に行っていたことが判明し、警察から身元を教えていただいた。

「石川県在住」

「両親あり」

両親にTEL

現在の状態を説明し、いつでも連絡取れる状態をkeepしていただく

# 初期診断と治療

○奄美病院に電話で相談

看護師長が電話で、「明日の外来なら受診  
できます」と。

# 初期診断と治療

○翌日の便で搬送することが決定



○今晚の安全な施設(設備)を探すことに



○警察にお願いして、保護房をお借りすることに



○私を身元引受人として、警察に身柄を預ける

# 初期診断と治療

○翌朝、警察に迎えに行き、奄美病院に定期便で搬送(医師1名と事務1名同伴)



○奄美病院での精神保健指定医の診察にて、治療介入必要と判断され、医療保護入院となった

# 問題提起

- ①緊急搬送の適応はあったでしょうか
- ②鑑別疾患を考える中で、トライエージを施行したかったが当院では検査できない。他施設ではいかがですか
- ③離島における精神科救急で24条通報となるとどういう対応になるのでしょうか
- ④初期研修医の電話相談に唯一の専門病院のDrが対応していただけなのはいかがなものでしょうか